

# I 今年度の研究推進

## 研究主題

### 夢中になって学ぶ子どもの育成

～子どもの学びを実現する単元構成からのコーディネートの工夫～

今年度、指導委員会は、二本松市教育委員会の目指す子ども像「夢中になって学ぶ子ども」の育成に向けて研究を推進してきました。昨年度の学校訪問や各校の現職教育、指導委員自身の授業等から明らかになつた課題をもとに、目指す子どもの姿を話し合い、その具現に向けた授業のあり方を検討しました。その結果、授業改善の視点を次の2点に焦点化しました。

○単元構成の工夫

○授業における深い学びのための教師のコーディネートの工夫

次に、この授業改善の視点に応じた指導案の形式を工夫し、「夢中になって学ぶ子ども」の育成に向けて授業実践を重ねてきました。

#### <夢中になって学ぶ姿とは？～目指す子どものイメージ～>

○興味関心をもち課題に気付く。

○自分の考えを表現する。

○試行錯誤し、追究する過程を楽しむ。

○他者と協力して学び合う。

○間違いや失敗を恐れない。

○次の課題を求め取り組む。

○学びを実生活に生かす。

など、学びに没頭している姿

#### <授業改善の視点と内容>

##### 1 単元構成の工夫

○単元や本時のゴール・育てたい姿を明確にする。

○単元における本時の位置付けを明確にする。

○生活や他教科等との関連を図るなど、魅力ある教材を開発する。

##### 2 教師のコーディネートの工夫

○気付きを促し多様な思考を生む発問を工夫する。

○思考ツールやICT、座席表等を活用して子どもの考えを可視化する。

○聞き返したり、再現させたり根拠を求めたりしながら、子どもの考え方をつなぐ。

## 研究構想図

### 課題

いつも話し合いをさせているけど、子どもたちの考えは深まらないなあ…



説明が多くて、教えこんでばかりだなあ…

子ども主体の授業になってないなあ…

### 教師のコーディネートの工夫

子どもの問い合わせがない学習課題

焦点化された課題を自力解決

子どもの思考を促す精選された発問

目的を明確にした話し合い活動

子どもの反応をつないだ、患者の見える学習過程

子どもの考えをつないだまとめ

何をどのように学んだのかの振り返りによる学びの深化

主体的・対話的で深い学びの実現

学びに没頭する姿を求めて



### 夢中になって学ぶ子どもの育成

単元のゴールで目指す子どもの姿から指導計画を構想

- 何が分かり、何ができるようになるか。
- どのような思考、判断、表現をめざすか。

○ 子どもの実態  
○ 学年間の系統性  
○ 単元間の関連性

○ 育成する資質能力の明確化  
○ ねらいに迫るために言語活動

○ 子どもの問い合わせから単元を通した学習課題を設定する  
○ 学習の連續性を持たせ意欲を持続させる  
○ 様々な学びの場面を意図的に組み立てる

### 単元構成の工夫

### 課題

1時間1時間の授業が細切れになっているような気がするなあ…



単元全体の見通しをもたせたいなあ。

見方・考え方を、単元全体を通して育てたいなあ…